

タイムラプス動画を使った全天周映像作品のご紹介

(有) KAGAYA スタジオ KAGAYA

一眼レフカメラによるタイムラプス（微速度撮影）の手法を使った2作品の予告編上映と、その制作風景などをご紹介します。

『富士の星暦 - 日本最高峰を知る -』（2014年3月より公開中）
世界遺産となった日本人の心のふるさと富士山。四季の星空と富士山を、撮影期間3年間・総日数100 昼夜撮り続けて作り上げた作品。高精細映像で見るダイヤモンド富士、パール富士、迫力の空撮映像、そして山頂からの眺望など。



『オーロラの調べ - 神秘の光を探る -』（2015年1月より公開予定）
ゆらめくカーテン、渦巻く光、そしてブレイクアップ。タイムラプスで撮影したさまざまなオーロラをドーム映像で再現。オーロラの発生メカニズムなどをCGで解説。氷河の空撮や北極圏の厳しいツンドラ地帯や連なる山々。アイスランドとアラスカの大自然とともにオーロラの魅力を満喫する作品。



「ひとりぼっちの星空」番組プロモーションについて

Altair LLC 代表 加藤 治

2014年2月、Altair LLC を設立。プラネタリウムのコンサルタントやプロモーションなどの事業を行っております。

ドーム映像出展では、全天周デジタル映像番組「ひとりぼっちの星空」を紹介させていただきます。

初公開時（2005年）、子供から大人まで幅広い共感呼んだプラネタリウム作品「ひとりぼっちの星空」が、その心温まるオリジナルストーリーをもとに、星空に包まれたイメージを残しつつ、躍動感に満ちた全天周デジタル映像作品として生まれ変わりました。今を生きる子どもたちと、子どもたちを見守るかつての子どもたちにお届けする、世代を超えた珠玉の感動作です。

このプログラムは、弊社 Altair LLC、及び(株)リブラ様の HAKONIWA プロジェクトからも配給しております。皆様の施設でもご検討いただけると幸いです。製作・著作：「ひとりぼっちの星空」製作委員会
制作・お問い合わせ：田島秀樹事務所(有) 0558-23-3424
ウェブサイト：<http://planetarium.to/tajima/>



「月へいこう！～おためし月面生活～」

大阪市立科学館

近未来の設定で月観光旅行に出かけ、月世界の探検をする、2001年制作の人気番組が最新映像を加えてデジタル全天周番組になりました！株式会社リブラから配給します。

内 容：ピンポンポンポン！突然ですがみなさまには「月で暮らそう」体験ツアーに参加していただくことになりました。近い将来、月への観光旅行ができるようになるかもしれません。その前に、月はどんなところなのかプラネタリウムで調べてみましょう。月には空気も液体の水もありません。地球とはまったくちがう環境で、安全に楽しく暮らすためには、どうすればいいのでしょうか？さあ、「おためし月面生活」に出発しましょう！

投影時間：約19分50秒

声の出演：古川登志夫、冬馬由美

備 考：予告編をYouTube「月へいこう」<http://youtu.be/DIcmCdcMi00>でご覧いただけます。



新作コンテンツ「ロゼッタ」と現在制作中の「重力」番組の紹介など

合同会社スターライトスタジオ 三谷真佐幸

当スタジオは科学の面白さを伝えることに重きを置いたドーム映像・番組の制作を続けています。今回は昨年の JPA 大会以降に制作したコンテンツや番組と現在制作中の番組などについて紹介します。

ショートコンテンツ「星探査機ロゼッタ」今年 1 月、ESA が打ち上げていた彗星探査機ロゼッタが冬眠から目覚めました。8 月には探査対象の彗星へ接近し、彗星の旅について行きます。11 月には着陸機を投下する予定です。この探査機ロゼッタの活動を数分間のショートコンテンツとし、昨年制作した番組『彗星の旅』とセットでの配給を予定しています。

番組『不思議！4次元宇宙 ～重力と時空の真相～ (仮)』重力と聞いて何を思い浮かべるでしょう。ニュートンのりんご？天体の運動？星の誕生？そのどれもが重力なしではありえません。ところが重力をより深く知るとそれは想像を超えて宇宙そのものと深く関係していました。驚きに満ちた宇宙の正体とは！？



全天周映像作品「キズナノホシ」予告編

カガクノトビラプロジェクト 小林道夫

私どもカガクノトビラプロジェクトではこのたび新しい全天周映像作品「キズナノホシ」の制作を開始いたしました。本大会の場をお借りして予告編を上映させていただきます。

作品のテーマは“人と人を結ぶ絆”。主人公が一枚の写真を手がかりにあちこちを訪ね歩き、失われかけた父との絆を再構築する物語です。もちろんプラネタリウムでの上映が前提ですので、天文的知見を育む要素というのは欠かせません。本作では人のつながりというテーマのストーリーを縦軸に据え、横軸には「絆の星」というキーワードから星の和名や人工衛星などの知識を絡ませていきます。

映像はほぼ全編を通して静止画の連続撮影による実写映像です。映像は一人称視点で、観客が主人公の体験する環境を追体験していくという形をとっています。人物は基本的に登場しませんが、ご協力いただいた宇宙・天文のスペシャリストの皆様のメッセージをストーリーから切り離れた形で組み込む予定です。

この「キズナノホシ」は天文にあまり親しみを持っていない方々がターゲットです。内容は平易ですが、観た人の行動を変えるモチベーションになれるような、そんな強いメッセージを持った作品に仕上げたいと考えています。9月の国際科学映像祭にて完成版をご披露できるよう鋭意制作を進めておりますので、ぜひご期待下さい。



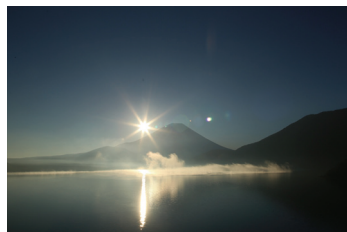
ドーム映像出展＜五藤光学研究所最新作のご案内＞

株式会社五藤光学研究所

五藤光学研究所はドーム空間のトータルクリエイターとして、長年多様な題材や年齢層にあわせたプラネタリウム番組、ドーム作品を送り出してまいりました。本年も天文・宇宙テーマの番組や子ども向け番組など様々な番組を配給いたします。

本年はアメリカ自然史博物館と共同制作による新作“DARK UNIVERSE”を日本語版『見えない宇宙を探るダークユニバース』として今夏配給を開始します。また昨年から今年にかけて制作しましたプラネタリウム館オリジナル企画番組のご紹介もいたします。

それぞれの番組資料は弊社ブースにご用意いたしておりますので、弊社スタッフまでお気軽にお声がけください。

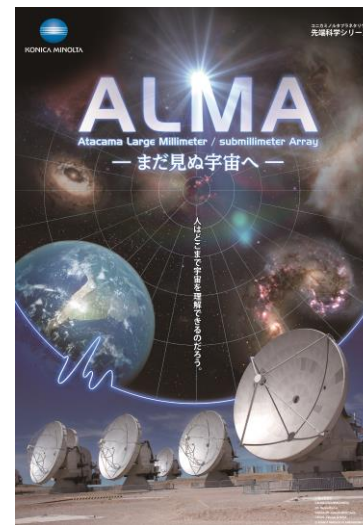


コニカミノルタプラネタリウム 2014 年新コンテンツの紹介

コニカミノルタプラネタリウム株式会社 清水大輔

当社からは、人気キャラクターを採用した番組として、1月に「銀河鉄道999～赤い星ベテルギウス いのちの輝き～」5月に「ポケットモンスター XY 宇宙の破片(そらのはへん)」をそれぞれリリースさせていただきました。今大会ではこれらのトレーラー映像をご覧ください。

また、「コニカミノルタプラネタリウム 先端科学シリーズ」と称した第一弾作品として、アルマ望遠鏡のプロジェクトや観測成果に迫る番組「ALMA～まだ見ぬ宇宙へ～」を6月にリリースさせていただきます。こちらは3分間のダイジェスト映像としてご紹介させていただきます。



イーハトーヴプレゼンツ新番組プロモーション全天映像について

株式会社イーハトーヴ 西谷尚之

株式会社イーハトーヴでは今年度の新作番組としまして、現在3作品の配給を進めており、今回の全国プラネタリウム大会、姫路2014におきまして、この3作品のドーム上映（各2分間）を行います。

『ねえ おそらのあれ なあに？』は、ユニバーサルデザイン絵本原作初のプラネタリウム番組です。山梨県立科学館様のボランティア団体、星の語り部の原作による絵本をもとに、同館の企画、シナリオを弊社が制作協力させていただいたもので、子ども向け、子ども連れの家族向けの番組として配給しています。ユニバーサルデザインとは、障がいの有無にかかわらず、全ての人にとって使いやすいデザインのこと。目の見えない人も耳の聞こえない人もいっしょに楽しんでいただけるよう、吹き出しによる字幕つき、副音声つきを用意し、障がい者施設の団体様にもご観覧いただける番組です。

『星空にうたう ～天の海 星の林に 月の船～』は、古より詠い継がれてきた和歌や俳句、現代の短歌など26首、2編の詩を彷彿させる実写全天映像や絵画、ダイナミックな天空の姿とともにお楽しみいただける番組です。プラネタリウム恒星機の機能をフルに生かした演出にもこだわっています。（完全デジタル化対応）

『オーロラ交響曲 ～オーロラに抱かれて～』は、カナダ イエローナイフ 現地全天映像、計4回ロケ撮影による四季折々のオーロラの姿を中心に、約15分間にまとめた番組の他、宇宙から見たオーロラやオーロラ発生のおもしろさをCG映像で展開するシーンを加味した約25分バージョンの制作も進めています。オーロラ映像のみのご提供も可能で、すでに各館から好評価をいただいております、イベントや企画展に華を添える一助となっておりますことを心から嬉しく思っております。

新作ドームコンテンツのご紹介

エクスプローラーズ ジャパン株式会社

<ご紹介 1 >

「ノーマン・ザ・スノーマン～北の国のオーロラ（約 25 分）」ドームデモ
昨年冬に「コニカミノルタプラネタリウム満天様」を皮切りに全国 5 箇所で開催いたしました本番組のご紹介およびトレーラー約 30 秒をご覧ください。

<ご紹介 2 >

「山崎直子宇宙飛行士の Space Academy（60 分）ドームデモ
本年 5 月 8 日にあすたむらんど徳島様にて一般公開いたしました本番組のご紹介およびトレーラー（約 60 秒）をご覧ください。

<ご紹介 3 >

「紙兎ロペ おれらロケット飛ばすってマジっすか!?(25 分)」ドームデモ
本年 5 月 3 日に板橋区立教育科学館様にて一般公開いたしました本番組のご紹介およびトレーラー（約 90 秒）をご覧ください。

<ご紹介 4 >

「くまモンのほしぞらおもちゃばこ（25 分）」ドームデモ
本年 5 月 31 日にさいたま市宇宙劇場様にて一般公開いたしました本番組のご紹介およびトレーラー（約 50 秒）をご覧ください。



ドラえもんプラネタリウム番組のご紹介

(株)マイクロミュージアムラボラトリー 近清 武

◆あらすじ

身近な流れ星への興味をきっかけに、私たちが暮らす太陽系を探検します。太陽系誕生の物語は、自分たちと地球や太陽のつながりを実感し、一足先に太陽系を飛び出した NASA 惑星探査機ボイジャーは、太陽系の広がりや、JAXA 小惑星探査機”はやぶさ”は、太陽系が誕生した頃の記憶を、私達に教えてくれます。本番組は、お友達や、ご家族といっしょに、自分たちの住む太陽系に思いを馳せてみる、そんな機会となることでしょう。本作パート2では、ドラえもんの“ひみつ道具”が、さらにパワーアップして大活躍、太陽系のひみつが、ついに、解き明かされる?! さあ、ドラえもんやのび太達と太陽系探検の旅に出かけよう!

◆監修 吉川真 (JAXA 准教授、はやぶさ2 ミッションマネージャー)
「宇宙からは、いろいろな天体が地球に降ってきます。地球もそのような天体から生まれました。この番組で、"地球は、まさに宇宙の一員である"ということが実感していただけたと思います。」推薦!

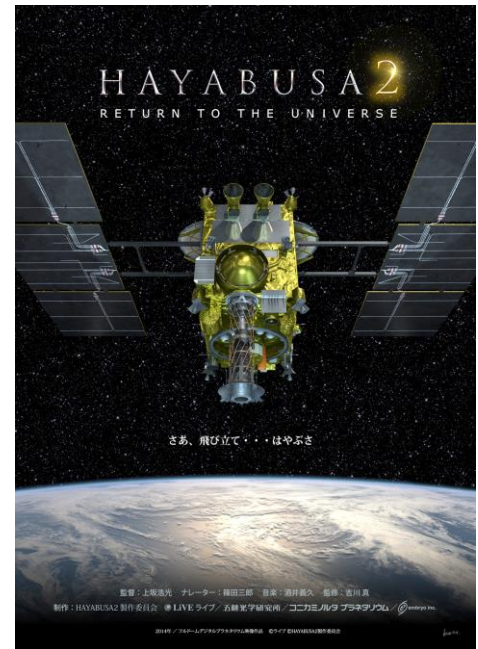


HAYABUSA2 -RETURN TO THE UNIVERSE-

有限会社ライブ 上坂 浩光

HAYABUSA -BACK TO THE EARTH-の続編である本作は、はやぶさの意志を引き継ぎ、再び宇宙に飛び立っていくはやぶさ2を描きます。はやぶさは、工学的、理学的成果をもたらしたではありません。諦めずに進んで行くその姿が多くファンを生みだし、宇宙への意識を広げる大きなきっかけになりました。この作品は、はやぶさ2ミッションの全貌を理解してもらおうと同時に、そんな沢山の人の心のよりどころとなる作品を目指します。2014年7月リリース予定です。

フルドームデジタルプラネタリウム映像作品 長さ：LONG 37分・SHORT29分（予定）監督：上坂浩光／ナレーター：篠田三郎／音楽：酒井義久／監修：吉川 真／制作：HAYABUSA2 製作委員会（有限会社ライブ・株式会社五藤光学研究所・コニカミノルタプラネタリウム株式会社・有限会社エンブリオ）／配給：株式会社五藤光学研究所・コニカミノルタプラネタリウム株式会社
公式HP：<http://www.live-net.co.jp/hayabusa2>



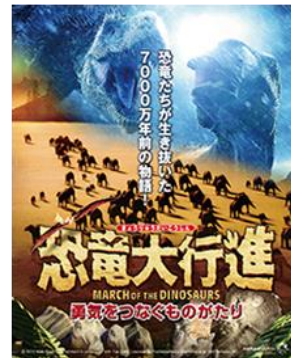
D & D ピクチャーズ新番組のご案内

株式会社 D&D ピクチャーズ

今年の J P A では新作番組のご案内させていただきます。

- 新「星の王子さま」
- 「NHK スペシャル 宇宙 未知への大紀行 -遙か彼方に生命を求めて-」
- 「アニマルライフ」
- 「キングペンギン」
- 「しまじろうとおたんじょうびのおほしさま」
- 「恐竜大行進」

など。



上映館様ごとにカスタマイズした全天シーンの作例

AND You 金子益巳 波田野 聡美

弊社では、オリジナル作品、弊社配給作品にかかわらず、上映館様の特色を出来る限り出せるよう、番組制作を行っております。今回は、その中から、全天ムービーの作例をご紹介します。

上映館様の近隣の風景を取り入れたもの、また特に科学的な内容にこだわった映像など、細かいところにも工夫を凝らしたものとなっておりますので、どうぞ御覧ください。

